

平成20年 9月 10日 (水)
コミュニティセンター3階会議室

第3回 自治基本条例をつくる市民会議
テーマ: 行政にはこうあってほしい 自治の課題を解消するために行政に望むこと
～小諸市の行政の責務を確認するためのワークショップ～

1 班

小諸市の自治の課題		小諸市の自治の目指す姿		テーマ1: 課題と目指す姿の確認		テーマ2: 誰の問題か?		テーマ3: 行政の役割は?	
a. 小諸市の自治の課題について		b. 小諸市の自治の目指す姿について		c. 誰(市民・議会・首長・行政)が中心的な役割を果たすか		d. 行政・職員の役割・責務について			
低下している住民の自治意識を高める必要がある	住民の自治意識が高い	全体に対する意見	全体に対する意見	全体に対する意見	全体に対する意見	行政に限らず、できる人が	行政・職員	行政・職員	行政・職員
機運が高まっているボランティア活動や市民活動を地域の運営に活かしていくことが必要	区やボランティア活動などの市民活動が盛んで、暮らしやすい地域を市民皆でつづけている	各テーマに対する意見	各テーマに対する意見	各テーマに対する意見	各テーマに対する意見	楽しく参加できる仕組みを作る	協力者、市民活動の担い手の声を聞いた上でサポートを行う	行政・職員	市民は、市民活動をパートナーとして認める
安全で快適な市民生活を送るための区と行政の役割分担の再確認・再設定することが必要	市民活動は、行政の適切な支援のもとで、適切な役割分担の考えにもとづいて行われている	市民活動は、活用するという発想では育たない。無理なく少しずつ伸ばすような考え方が必要	市民活動は、型にはめず、多様な活動を認めることが必要	若い人は、関心があっても地域活動に参加できないという社会状況があることを踏まえて、考えるべき	多様な人(関心ない人)がいるという前提で、目指す方向性を定めるべき	これがベストという役割分担の形はない。状況により様々な役割分担を使い分けられるべき	行政がリーダーシップをとる	行政は黒子	四者が得意な部分を協力して担う
行政の施策・事業の効率性や効果を適切に管理することが必要	行政は、市民にとって必要な事業を効率的・効果的に実施している	市民活動、ボランティア活動、それぞれを分けて、しっかり定義すべき	ボランティア活動 = 無償活動という認識を変えなければならない	自治の目指す姿というのにはわりづらさがあるので、ワンフレーズでわかるような表現の工夫が必要	年代によって住み良さ、幸せの方向性が違うことに配慮したうえで、目指す姿を掲げるべき	行政がリーダーシップをとる	行政が検討を行うためのスケジュールをひく	情報発信 行政は、わかりやすく、伝わりやすくする責任がある	ニーズ把握 市民のニーズをくみ上げるのが行政の役割
	市民は、行政が必要な事業を行うように、行政の計画や事業について、コミュニケーションを図っている	行政を「管理」という表現に違和感を感じる。「監視」のほうが正しいがこれにも違和感がある...	現状は確かに、コミュニケーション不足、図書館建設やごみ処理場の議論についても、テグハグなやりとりになっている			行政が提供する情報に対して、関心を持つことが市民の責務	市民	市政運営の参考とするためにアンケートをとることは有効な手段	

平成20年 9月 10日 (水)
コミュニティセンター3階会議室

第3回 自治基本条例をつくる市民会議
テーマ: 行政にはこうあってほしい 自治の課題を解消するために行政に望むこと
~小諸市の行政の責務を確認するためのワークショップ~

2 班

		テーマ1：課題と目指す姿の確認		テーマ2：誰の問題か？		テーマ3：行政の役割は？	
小諸市の自治の課題	小諸市の自治の目指す姿	a.小諸市の自治の課題について	b.小諸市の自治の目指す姿について	c.誰(市民・議会・首長・行政)が中心的な役割を果たすか		d.行政・職員の役割・責務について	
低下している住民の自治意識を高めたいことが必要	住民の自治意識が高い	自治を行う一員としての自覚を持っている人が少ない 「自治意識を持つ」というのは理想論だ	自治意識を高めることが一番重要である “自治意識が高い”の具体像 自治意識の高い人がリーダーとして引っ張っている 個人だけでなくグループで自治が行われている	住民・行政・首長・議会の4者の連携により役割を果たすべき 教育機関(行政の一部)が中心的役割を果たすべき 市民から選ばれた議会が中心的役割を果たすべき	市民への説明や情報公開 市長が市民の意見を直接聞く機会を設ける(公民館等へ出向く等) 行政が住民の意見を聞く	小諸市に対し、行政職員が理解を高める どう自治を担うべきなのか、行政職員が理解を深める	
機運が高まっているボランティア活動や市民活動を地域の運営に活かしていくことが必要	区やボランティア活動などの市民活動が盛んで、暮らしやすい地域を市民皆でつづけている	ボランティアを続けていくことが、資金・体制面でむずかしい グループどうしの連携をとりながら活動することが難しい	ボランティア等の活動が継続的に行なわれている(現状では継続させることが難しい)	時間に余裕のある人(意識あっても時間がない人には担えない) 「お金を出す人/知恵を出す人/働く人」の3つの役割 市民がそれぞれの立場で、できることをやる	ボランティアをするための情報を提供する(どんな活動が必要とされているか等) ボランティアに関する様々なことに対し、理解を深める	区長、議員に相談しやすい体制をつくる 市民が意見を言いやすい雰囲気、状況をつくる	
安全で快適な市民生活を送るための区と行政の役割分担の再確認・再設定することが必要	市民活動は、行政の適切な支援のもとで、適切な役割分担の考えにもとづいて行われている	行政サービスに対するニーズが高まる一方、それに応えるにも限度がある 区によって役割分担ができていないところがある	行政はNPO、ボランティアにまかせきり 区と行政の役割は明確になっている 実施する時は「役割分担」をイメージしてしまふ、本来は全てみんながやるべき	市民・行政間での等な立場でパートナーシップが築かれている 区に対し、役員手当て以外に事業の予算も与え、区が主体的に活動している 市の予算が公開されている(今後も継続させるべき) 事業に関する情報が分かりやすく提供されている	行政は状況によって「リーダーシップ」の発揮、「住民の意見を聞く」を使い分ける よりレベルの高い役割分担を実現するため、区との情報交換を密にする	区に割り当てられた役割でも、適切に行なわれなければそれを行政が担う 住民どうしの対立を解決するための調整	
行政の施策・事業の効率性や効果を適切に管理することが必要	行政は、市民にとって必要な事業を効率的・効果的に実施している 市民は、行政が必要な事業を行うように、行政の計画や事業について、コミュニケーションを図っている				事業に関する情報を分かりやすく提供する		